

(科目コード : 2006920128AA)

【改訂】第20版(2014-09-30)

【科目】経済思想

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】選択 【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】生産システム,環境 1年

【担当教員】加藤 健

【授業目標】

経済思想における多様な議論を整理することができる。

歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。

過去の人々が積み上げてきた知識、理論、思想について理解することができる。

経済学が扱う様々な主題を、意味あるものとして自分なりに捉え直すための見取り図を描くことができる。

【教育方針・授業概要】

・本科目の総授業時間数は22.5時間である。

・人間が行う経済活動の在り方は時代や状況によって様々に変化するが、人間の諸行為を認識する学問としての経済学もまた現実を反映することによって変化していく。講義では、経済学者が実際に取り組んだテーマや問題関心などを振り返ることによって、社会を認識する経済思想の多様な側面を考察しよう。

・経済学における「人間の経済活動の在り方」や「社会の在り方」に関する議論を中心に検討する。

【教科書・教材・参考書等】

教科書は特に用いない。

随時資料を配布する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で進める。

講義の内容に基づいた小レポートの作成などを行う。

【成績評価方法】

[後期]期末試験：80%，レポート：20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	経済学の様々な主題を整理し、位置づけ、理解することができる。	50 %	定期試験40%、小レポート10%の割合で評価する。
2	歴史的バックグラウンドと経済思想の展開について理解することができる。	50 %	定期試験40%、小レポート10%の割合で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、多種多様な人間文化と社会生活を理解するとともに、ものごとに対して多角的観点から考察できる力を涵養する

【授業計画】(経済思想)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	ガイダンス	経済思想と経済学		講義内容の復習
2～3回	市場社会の成立を支えた思想	ホッブズ、ロック、モンテスキュー、ルソーなど		講義内容の復習
4回	重商主義と重農主義	ケネーなど		講義内容の復習
5～6回	自然的自由の経済思想	スミスなど	小レポート	講義内容の復習
7～8回	市場社会における構造と発展モデル、及び、貧困と人口	リカード、マルサスなど		講義内容の復習
9回	功利主義的統治と経済的自由主義	ベンサム、J.S.ミルなど		講義内容の復習
10回	限界革命	ジェヴォンズ、メンガー、ワルラス、マーシャルなど		講義内容の復習
11～12回	ケンブリッジの経済思想	ケインズなど		講義内容の復習
13～14回	アメリカ制度学派	ヴェブレン、コモンスなど	小レポート	講義内容の復習
15回	まとめ			